石部小学校
コミュニティスクール
（令和元年度活動報告特集号）

令和２年３月　発行

-- 第7号 --

石部小学校
学校運営協議会
理事長　古賀　和男
広報担当
石本　奈緒
TEL:77-2030

石部小学校コミュニティスクールは賛助会、地域、保護者の皆様のご理解、ご支援をいただき、おかげさまで5年目の活動を実施することができました。そこで、本号では主に今年度の各運営委員会の活動実績についてご報告いたします。

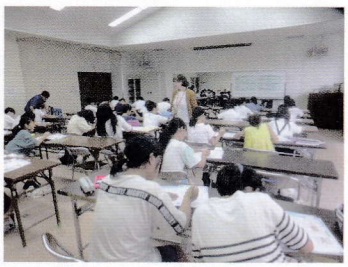
〈学習支援委員会〉

理　　事：肥夏明子・石本奈緒・寺田弘史・小谷千恵
運営委員：石田賀子・山井良一・笠井義則

学習支援委員会では、今年も夏休みに4日間（7/19、7/27（台風接近のため中止）、8/2、8/9、8/21）、冬休みに1日（12/23）の合計5日学習教室を開催しました。夏休み学習教室の参加者はのべ 343 人、冬休み学習教室は 96 人とほぼ前年と同人数となりました。学習教室は、1・2 年生、3・4 年生、5・6 年生が石部まちづくりセンターの学習室などの3つの部屋に分かれ、わからない所があれば、学習ボランティアやまわりの友達に聞いたりして宿題や当教室で用意した学習プリントで勉強しました。

夏休み学習教室後に行った子どもたちの振り返りの感想では、低学年：「せんせいがおしえてくれて、いっぱいできた。」「べんきょうして、たのしかった。」「じがきれいにかけてうれしかった。」中高学年：「いろいろと調べて新しいことが分かった。」「友達にアドバイスをもらえた。けっこう進んでよかった。」「わからないところを教えてもらえるので、スイスイ進んだ。」といった、感想がありました。ご協力・ご支援ありがとうございました。

当委員会での振り返りの中で、「席を決めないことにより、教え合う様子がみられた。」「１年生で机が高いため、立ちながら学習する子がいた。」など、次年度に向けての意見が出されました。



〈体験的活動支援委員会〉

理　　事：谷　弥一郎・福島　勝・三大寺　章
運営委員：青木俊雄・奥野頼子・大継綾子

体験的活動支援委員会では、わくわく科学実験教室３～６年生（7/13）、１・２年生（9/7）、もちつき大会（11/14）を開催しました。

（1）わくわく科学実験教室3～6年生は、21人が参加してうどんづくりを通して、「グルテンの秘密」について学びました。うどんの材料である小麦粉の中にあるタンパク質がこねるとグルテンというものに変わり、生地を足で踏むことで、かみごたえのある「こし」を生み出すことがわかりました。参加した児童の感想では、「小麦粉と米粉のちがいがわかりました。」「うどんの作り方がわかりました。家でも作りたいです。」「うどんにこんなに手間がかかっていることを知って、もっと大切に食べようと思った。」「足で生地をふむのは気持ちよかったです。そして、包丁でうどんの麺にするのがとてもむずかしかったです。」などがあり貴重な体験ができました。